



令和6年6月28日
鉄道局都市鉄道政策課

大阪メトロ・中央線に係る軌道事業の特許について

～大阪メトロの森之宮検車場内に新駅を設置して旅客運輸事業を行うことで、まちづくりが進められている大阪城東部地区までのアクセス利便性が向上します～

国土交通大臣は、大阪メトロによる中央線の軌道事業の特許申請について、本日付けで特許しました。

大阪メトロ（大阪市高速電気軌道株式会社）から申請のあった軌道法第3条に基づく大阪メトロ・中央線（森ノ宮～（仮称）森之宮新駅）の軌道事業特許申請について、本日（令和6年6月28日）付けで特許しました。

※申請概要は別紙のとおりです。

<問い合わせ先>

鉄道局都市鉄道政策課企画調整官 高相

TEL 03-5253-8111（内線 40402）

03-5253-8536

事業概要

事業主体	大阪市高速電気軌道(株)	
事業区間	森ノ宮駅～(仮称)森之宮新駅 約1.1km	
事業費	約50億円(事業主体が全額自己負担)	
開業予定	令和10(2028)年4月	
運輸収入	約3億円/年※1	約2万人/日
運行計画	上下8本/時(上下それぞれ15分間隔で運行)※2	

※1 大阪メトロの運賃体系を適用(通算運賃とし加算運賃は設定しない)

※2 森ノ宮駅～(仮称)森之宮新駅間の折り返し運転
アリーナでの大規模イベント開催時等は臨時列車の運行を検討

経緯・背景

- 平成24(2012)年6月、大阪府・市が「ランドデザイン・大阪」を策定。今後の取組みとして、森之宮駐車場の活用も含む森之宮周辺の活性化等を位置付け。
- 令和2(2020)年1月、大阪府・市及び公立大学法人大阪が「新大学基本構想」を公表。令和4(2022)年4月に大阪府立大学、大阪市立大学の2大学を統合して大阪公立大学を新設することや、森之宮に都心メインキャンパスを整備する方針等を示す。
- 令和2(2020)年9月、大阪府・市が「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」を策定。大阪公立大学の森之宮キャンパス設置を先導役にした、多世代・多様な人が集い、交流する国際色ある拠点形成の実現に向けたまちづくりを推進していくことを決定。
- 令和4(2022)年12月、大阪メトロが「森之宮新駅構想について」を公表。大阪府・市からの要望を受け、森之宮検車場内に万博終了後の留置線跡地を活用して新駅を設置する方針を決定。

